

第4章 1. 院政と平氏の台頭 c. 院政期の社会

①[1 **院の近臣**]ら、[2 **受領**]層など中下級貴族のグループを形成
→[3 **院**]の力で豊かな国の国司などの地位を獲得

[4 **知行国**]制度…上級貴族に知行国主として5 **国司を任命する権利**を与える
→知行国主は子弟や近親者を国守とし[6 **目代**]を派遣して統治、収益を得る
[7 **院分国**]…院自身が国の収益権を確保する

→公領は 8 **院や知行国主・国司らの私領**のような存在となる

②院への[9 **荘園**]寄進の集中→院自体が巨大な荘園領主化([10 **八条院**]領[11 **長講堂**]領など)

摂関家(「殿下渡領」など)や有力な寺社(比叡山・興福寺・伊勢神宮など)にも荘園が集中
→膨大な荘園群が形成=大貴族や大寺社の経済的基盤は[12 **荘園**]へ

③院政下の社会=権力者が[13 **私的な勢力**]に分裂し、[14 **法によらず実力で争う**]社会

大寺院([15 **南都・北嶺**])→[16 **僧兵**]を組織し朝廷に強訴する

白河上皇の三不如意=「賽の目、鴨の水、僧兵」

院や貴族…[17 **武士**]を[18 **北面の武士**]などに組織して僧兵などに対抗

上皇のまわりには、富裕な受領や后妃・乳母の一族など[19 **院の近臣**]とよばれる一団が集まり、上皇の力を借りて収益の豊かな国の国司などに任命された。このころには上級貴族に一国の支配権をあたえ、その国からの収益を取得させる[20 **知行国**]の制度や、院自身が国の収益をにぎる[21 **院分国**]の制度が広まって、公領は院や知行国主・国司の[22 **私領**]のようになり、院政を支える経済的基盤となった。
院政のもう一つの経済的基盤は大量の[23 **寄進地系荘園**]である。とくに鳥羽上皇の時代は、院の周辺に荘園の寄進が集中したばかりでなく、有力貴族や大寺院への荘園の寄進も増加、不輸・不入の権を持つ荘園も一般化し荘園の独立性が強まった。
大寺院も多くの荘園を所有し、下級僧侶を[24 **僧兵**]として組織し、神木や神輿を先頭に立てて朝廷に強訴したため貴族らは、[25 **武士**]を用い警護や鎮圧にあたらせた。

c. 平氏政権の成立

①桓武平氏の台頭=平正盛が[26 **源義親**]の乱鎮圧

→[27 **平忠盛**]が海賊を鎮圧・[28 **院の近臣**]として台頭→その子[29 **清盛**]のとき有力に

②1156 [30 **保元**]の乱

鳥羽上皇の死後、[31 **後白河**]天皇と[32 **崇徳**]上皇とが争う。

摂関家の内紛(関白[33 **藤原忠通**]と左大臣[34 **藤原頼長**]の対立)と結合

双方が武家を動員し、京を舞台とした戦闘が繰り広げられる

○[35 **後白河**]天皇(藤原忠通)側の勝利

→[36 **平清盛**]・[37 **源義朝**]らが有力となる

×崇徳上皇(藤原頼長)側の敗北→上皇は[38 **流刑**]、[39 **源為義**]らは斬られる

義朝の父・清和源氏

③1159 [40 **平治**]の乱…平清盛が[41 **源義朝**]を破る=[42 **清和源氏**]の没落

→[43 **源頼朝**]は伊豆に流される。

◎貴族内部の争いも、44 **武家の棟梁の武力**がなければ解決できないことを示す。

④平氏政権([45 **六波羅**]政権)…平清盛が[46 **太政大臣**]、一族すべてが高位高官に。

「この一族にあらざらむ人は皆人非人なるべし」(平時忠)

⑤平氏政権の二面性=「古代」(=[47 **貴族**])的側面と「中世」(=[48 **武家**])的側面

ア、天皇の[49 **外戚**]となる=娘徳子の中宮に入れ、孫の安徳天皇を即位させる

イ、高位高官を独占、多くの[50 **荘園**]・[51 **知行国**]を所有

ウ、[52 **武家の棟梁**]として一族・家子・郎党を中心に畿内・西国の武士を[53 **家人**]に組織

エ、[54 **瀬戸内**]航路の整備、[55 **日宋**]貿易に力をいれる([56 **大輪田泊**]の修築)

↓

⑥平氏政権の独裁化の進展→しだいに旧勢力([57 **後白河法皇**]と側近勢力)との対立激化

(1177 [58 **鹿ヶ谷**]の陰謀発覚)

1179年、後白河法皇を[59 **幽閉**]し、政治の実権を握る

d. 院政期の文化

①[60 **貴族**]文化の[61 **地方**]への文化の拡がり。

貴族による武家・[62 **庶民**]など地方文化の吸収

②仏教の最盛期=[63 **六勝寺**]など巨大な寺院・堂塔・仏像の建築、盛大な法会、仏教儀式

浄土教思想の全国への波及→[64 **中尊寺金色堂**]、白水阿弥陀堂、富貴寺大宮

平氏による[65 **厳島**]神社再興([66 **平家納経**]を納める)

③民衆文化への関心

説話集=[67 **今昔物語**]編纂

[68 **猿楽**]や[69 **田楽**]など庶民芸能の流行

民間の歌謡(今様)を採集…「[70 **梁塵秘抄**]」(後白河法皇が編纂)

④[71 **歴史物語**]の流行=[72 **大鏡**]「栄花物語」

軍記物語「将門記」「陸奥話記」

⑤絵画=[73 **絵巻物**]の隆盛…「[74 **源氏物語絵巻**]」「[75 **伴大納言絵詞**]」

「[76 **信貴山縁起絵巻**]」

[77 **鳥獣戯画**]→当時の世相を風刺(「マンガ」の原点?)